

奈良市SC (奈良県)

唐招提寺の清掃に汗を流す

世界遺産に登録された唐招提寺で、清掃作業を行う会員たち。
施設受付やさまざまな行事の手伝いなどにも汗を流して、地域の文化を支えている。



奈良市SCでは、多くの会員が市内にある寺院で清掃などに汗を流し、地域の文化を支えている。世界遺産にも登録されており、国内外から大勢の参拝客が訪れる唐招提寺もその一つ。写真は、8世紀後半の創建時の荘厳な姿を見せる、唐招提寺の金堂（国宝）。唐招提寺の開門時間は、8時30分～17時（受付は16時30分まで）

世界遺産に登録された
唐招提寺で就労する

奈良時代に平城京が置かれた古都・奈良市には、多くの神社仏閣が点在する。

公益社団法人奈良市シルバー人材センターでは、三十余りの寺で清掃、剪定、除草作業などを受注している。今回は、唐招提寺で就労する会員を取材した。

唐招提寺は、仏教を伝えるために中国から渡日した鑑真和尚（かんじんわしょう）により、天平宝字三年（七五九）に建立された律宗の総本山である。井上靖の小説『天平の甕』でも広く知られるようになった。金堂や講堂といった建築物をはじめ、盧遮那仏坐像や鑑真和上坐像など数多くの国宝を有している。平成十年に古都奈良の文化財の一部として世界遺産に登録された。

作業は朝の清掃から

唐招提寺では、清掃作業を中心

開門前の静寂な空気の中で、丁寧に清掃作業を行う落合伸一さん



境内に敷き詰められた砂利に、熊手を使って美しい筋を引いていく清水好一さん



に会員が就労している。就労時間は八〜十七時。

緑の多い広々とした境内には、細かい砂利がきれいに敷き詰められている。「前日に訪れた参拝者の足跡を消すように、熊手を使って細かい筋を引いていきます」と落合伸一さん。見る見るうちに、きれいに筋の入った砂利道が境内に広がっていく。

「十年前に奈良市SCの剪定講習会に参加し、会員として剪定作業に携わってきました」と落合さん。その後、唐招提寺で清掃を中心に、行事の手伝いをしている。

清掃作業に励んでいた清水好一さんは「寺の閉門の鐘に合わせ、十七時に門を閉めて一日の作業が終わりになります」と話す。

体力的にきついこともあるそうだが、境内がきれいに清掃されていることを参拝者に褒められると、やりがいを感じ、とてもうれしくなると笑顔を見せる。

「今では季節の移り変わりを楽



道路を挟んだ向かい側に唐招提寺の駐車場（写真左）。駐車場の受付では高岡良樹さんが就労している（写真下）



福井靖二さんは講堂内の受付を担当



清掃作業を終えて、道具を小屋に片付ける宮部肇雄さん

しみながら一年を過ごしています」と清水さん。

また、境内以外に、金堂や講堂の内部を清掃することもあるが、数多くの国宝があるため、いつも以上に緊張感を持って作業に臨んでいるそうだ。

唐招提寺を訪れる参拝者は、素朴で落ち着いたたたずまいに魅了されるという。会員の丁寧な清掃作業が、その一翼を担っている。

講堂内と駐車場の受付

福井靖二さんは、講堂内の受付をしていた。「朝の掃除をしてから、受付で参拝者を迎えます。私の仕事は禁止されている場所での写真撮影を止めることと、いたずらを防止することです」と話す。福井さんは勉強熱心で、参拝者に聞かれると独学で学んだ知識を披露することもあるという。

入会して十四年目になる高岡良樹さんは、道路を挟んだ広い駐車場受付をしていた。「中国人の参



蓮は、鑑真和上が中国から伝えたといわれる。唐招提寺では多くの蓮が育てられており、会員が夕方に水やりを行っている



唐招提寺の境内では多くの蓮が栽培されている (写真右)。花が咲く時期は、会員たちも手入れに忙しい



拝者が多く訪れます。これは、鑑真和上が中国より来たからでしょう。このため、駐車場でも中国語の会話が多少必要になるという。

唐招提寺の周りの道を清掃していた宮部峯雄さんは、「私は就労して六年目になります。唐招提寺も昔は無料で入れた時代がありました」と、地元出身者ならではの話を教えてくれた。

蓮の水やりや 年中行事の手伝いも

「鑑真和上が中国から蓮を伝えたといわれることから、唐招提寺では蓮を育てています。種類ごとに咲く時期が少しずつ違うので、順番に入れ替えて、長い期間、参拝する人たちに楽しんでもらっています」と落合さんは説明する。

取材の数日前まで、蓮鉢で育てた蓮を金堂の前に並べ、参拝者に見てもらっていたという。蓮の水やりは、会員が夕方に行っている。境内にある御影堂供華園では、

奈良市SC(奈良県)

唐招提寺では、会員ボランティアによる清掃も実施している。写真右は、清掃作業の前にボランティア会員に説法をする唐招提寺の僧侶



建物の縁側の清掃(写真上)や、植え込みの落ち葉集め(写真左)を行う会員ボランティア

鑑真の故郷・中国揚州から送られた瓊花(けいか)(スイカズラ科ガマズミ属の半常緑低木)が小さな白い花を咲かせる時期に特別開園(毎年四月中旬〜五月上旬)し、この貴重な機会を毎年楽しみに大勢が訪れている。このほか、秋の「観月讚仏会」など、唐招提寺で催される行事の手伝いにも奈良市SCの会員が携わっている。

ボランティア清掃も盛ん

取材当日、就労中の会員とは別に、十時からボランティアとして境内の清掃に参加する会員がいた。参加者は、主に唐招提寺の所在する地域班の会員である。講堂の前で、担当の僧侶から仏教に関する話を聞いた後、いくつかの班に分かれて落ち葉拾いや縁側の雑巾がけを行った。

参拝者が少ない朝の境内。清らかな空気の中で、皆一生懸命汗を流していた。

(長野暁)